

1

解答解説のページへ

a, b, c を実数とし、 $f(x) = x^3 + ax^2 + bx + c$ とおく。曲線 $C: y = f(x)$ 上に異なる 2 点 $P(s, f(s))$, $Q(t, f(t))$ がある。

- (1) P における C の接線の方程式を求めよ。
- (2) P における C の接線と Q における C の接線が平行になるための条件を s, t, a の関係式として求めよ。
- (3) (2) の条件のもとで、線分 PQ の中点が C 上にあることを示せ。

2

解答解説のページへ

 $f(x) = |x(x-2)| + |(x-1)(x-4)| + 3x - 10 \quad (-2 \leq x \leq 4)$ とおく。

- (1) 関数 $y = f(x)$ のグラフをかけ。グラフと x 軸との 2 つの交点の x 座標 α, β ($\alpha < \beta$) の値も求めよ。
- (2) (1) の α, β に対して、定積分 $\int_{\alpha}^{\beta} f(x) dx$ の値を求めよ。

3

解答解説のページへ

$\triangle ABC$ が、 $AB=2$ 、 $AC=1+\sqrt{3}$ 、 $\angle ACB=45^\circ$ を満たすとする。

- (1) $\beta = \angle ABC$ とおくとき、 $\sin \beta$ および $\cos 2\beta$ の値を求めよ。
- (2) (1)の β の値をすべて求めよ。
- (3) $\triangle ABC$ の外接円の中心を O とする。 $\triangle ABC$ が鋭角三角形であるとき、 $\overrightarrow{OC} = s\overrightarrow{OA} + t\overrightarrow{OB}$ を満たす実数 s, t を求めよ。

4

解答解説のページへ

x, y を自然数とする。

- (1) $\frac{3x}{x^2+2}$ が自然数であるような x をすべて求めよ。
- (2) $\frac{3x}{x^2+2} + \frac{1}{y}$ が自然数であるような組 (x, y) をすべて求めよ。

1

問題のページへ

- (1) $f(x) = x^3 + ax^2 + bx + c$ に対して, $f'(x) = 3x^2 + 2ax + b$ となり, $C: y = f(x)$ 上の点 $P(s, f(s))$ における接線の方程式は,

$$y - (s^3 + as^2 + bs + c) = (3s^2 + 2as + b)(x - s)$$

$$y = (3s^2 + 2as + b)x - 2s^3 - as^2 + c$$

- (2) P における C の接線と $Q(t, f(t))$ における C の接線が平行より, $f'(s) = f'(t)$

$$3s^2 + 2as + b = 3t^2 + 2at + b, \quad 3(s^2 - t^2) + 2a(s - t) = 0$$

$$s \neq t \text{ から, } 3(s+t) + 2a = 0 \cdots \cdots (*)$$

- (3) 線分 PQ の中点を $M(u, v)$ とおくと, $(*)$ から, $u = \frac{1}{2}(s+t) = -\frac{1}{2} \cdot \frac{2}{3}a = -\frac{a}{3}$

$$v = \frac{1}{2}\{(s^3 + as^2 + bs + c) + (t^3 + at^2 + bt + c)\}$$

$$= \frac{1}{2}\{(s+t)^3 - 3st(s+t) + a(s+t)^2 - 2ast + b(s+t) + 2c\}$$

$$= \frac{1}{2}\left(-\frac{8}{27}a^3 + 3st \cdot \frac{2}{3}a + a \cdot \frac{4}{9}a^2 - 2ast - b \cdot \frac{2}{3}a + 2c\right) = \frac{2}{27}a^3 - \frac{1}{3}ab + c$$

$$\text{また, } f(u) = u^3 + au^2 + bu + c = -\frac{a^3}{27} + a \cdot \frac{a^2}{9} - \frac{1}{3}ab + c = \frac{2}{27}a^3 - \frac{1}{3}ab + c$$

よって, $v = f(u)$ より, 線分 PQ の中点 $M(u, v)$ は C 上にある。

[解説]

3次曲線の接線について, 基本を確認する問題です。

2

問題のページへ

(1) $-2 \leq x \leq 4$ において, $f(x) = |x(x-2)| + |(x-1)(x-4)| + 3x - 10$ に対して,

(i) $-2 \leq x < 0$ のとき

$$f(x) = x(x-2) + (x-1)(x-4) + 3x - 10 = 2x^2 - 4x - 6 = 2(x-1)^2 - 8$$

(ii) $0 \leq x < 1$ のとき

$$f(x) = -x(x-2) + (x-1)(x-4) + 3x - 10 = -6$$

(iii) $1 \leq x < 2$ のとき

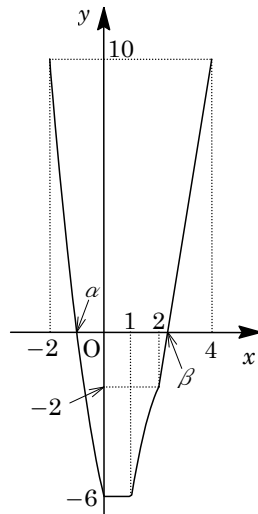
$$\begin{aligned} f(x) &= -x(x-2) - (x-1)(x-4) + 3x - 10 \\ &= -2x^2 + 10x - 14 = -2\left(x - \frac{5}{2}\right)^2 - \frac{3}{2} \end{aligned}$$

(iv) $2 \leq x < 4$ のとき

$$f(x) = x(x-2) - (x-1)(x-4) + 3x - 10 = 6x - 14$$

(i)~(iv)より, $y = f(x)$ のグラフは右図のようになる。

また, $-2 \leq x < 0$ における x 軸との交点 $x = \alpha$ は, $2x^2 - 4x - 6 = 0$ から $\alpha = -1$ となり, $2 \leq x < 4$ における x 軸との交点 $x = \beta$ は, $6x - 14 = 0$ から $\beta = \frac{7}{3}$ である。



(2) $I = \int_{\alpha}^{\beta} f(x) dx$ とおくと, I は $y = f(x)$ のグラフと x 軸ではさまれた領域の面積の符号を変えた数値となり,

$$\begin{aligned} I &= \int_{-1}^0 (2x^2 - 4x - 6) dx - 1 \cdot 6 + \int_1^2 (-2x^2 + 10x - 14) dx - \frac{1}{2} \left(\frac{7}{3} - 2 \right) \cdot 2 \\ &= \left[\frac{2}{3} x^3 - 2x^2 - 6x \right]_{-1}^0 - 6 + \left[-\frac{2}{3} x^3 + 5x^2 - 14x \right]_1^2 - \frac{1}{3} \\ &= \frac{2}{3} + 2 - 6 - 6 - \frac{2}{3} \cdot 7 + 5 \cdot 3 - 14 - \frac{1}{3} = -\frac{40}{3} \end{aligned}$$

[解説]

場合分けをして, 絶対値付きの関数のグラフをかく問題です。なお, (2)については, 計算を少し簡単にするために, 長方形や三角形は符号付きの面積を対応させています。

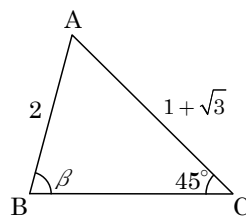
3

問題のページへ

- (1) $\triangle ABC$ に正弦定理を適用して、 $\frac{1+\sqrt{3}}{\sin \beta} = \frac{2}{\sin 45^\circ}$ から、

$$\sin \beta = \frac{1+\sqrt{3}}{2} \cdot \frac{\sqrt{2}}{2} = \frac{\sqrt{2}+\sqrt{6}}{4}$$

$$\begin{aligned} \cos 2\beta &= 1 - 2\sin^2 \beta = 1 - 2\left(\frac{\sqrt{2}+\sqrt{6}}{4}\right)^2 \\ &= 1 - \frac{2+\sqrt{3}}{2} = -\frac{\sqrt{3}}{2} \dots\dots\dots(*) \end{aligned}$$



- (2) $2 < 1+\sqrt{3}$ より $45^\circ < \beta$ であり、しかも $\beta < 180^\circ - 45^\circ = 135^\circ$ から、

$$45^\circ < \beta < 135^\circ, \quad 90^\circ < 2\beta < 270^\circ$$

すると、(*)から $2\beta = 150^\circ, 210^\circ$ なので、 $\beta = 75^\circ, 105^\circ$

- (3) $\triangle ABC$ は鋭角三角形なので、 $\beta = 75^\circ$ である。

また、 O は $\triangle ABC$ の外接円の中心より、

$$\angle AOB = 2 \times 45^\circ = 90^\circ, \quad \angle AOC = 2\beta = 150^\circ$$

$$\angle BOC = 360^\circ - 90^\circ - 150^\circ = 120^\circ$$

さらに、外接円の半径を R とすると、正弦定理より、

$$\frac{2}{\sin 45^\circ} = 2R, \quad R = \frac{2}{\sqrt{2}} = \sqrt{2}$$

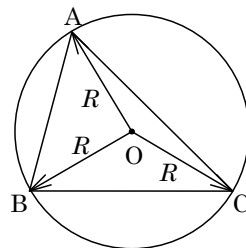
すると、 $|\overrightarrow{OA}| = |\overrightarrow{OB}| = |\overrightarrow{OC}| = \sqrt{2}$, $\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OB} = (\sqrt{2})^2 \cos 90^\circ = 0$

$$\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OC} = (\sqrt{2})^2 \cos 150^\circ = -\sqrt{3}, \quad \overrightarrow{OB} \cdot \overrightarrow{OC} = (\sqrt{2})^2 \cos 120^\circ = -1$$

さて、条件より、 $\overrightarrow{OC} = s\overrightarrow{OA} + t\overrightarrow{OB}$ なので、

$$\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OC} = \overrightarrow{OA} \cdot (s\overrightarrow{OA} + t\overrightarrow{OB}) = 2s, \quad \overrightarrow{OB} \cdot \overrightarrow{OC} = \overrightarrow{OB} \cdot (s\overrightarrow{OA} + t\overrightarrow{OB}) = 2t$$

よって、 $2s = -\sqrt{3}$, $2t = -1$ となり、 $s = -\frac{\sqrt{3}}{2}$, $t = -\frac{1}{2}$



[解説]

三角比とベクトルの融合問題です。(3)では、 $\overrightarrow{OA} \perp \overrightarrow{OB}$ に注目して、内積の値で処理をしました。他にも、ベクトルの大きさに注目する方法が考えられます。

4

問題のページへ

(1) 自然数 x に対し, $\frac{3x}{x^2+2}$ が自然数であるためには, $\frac{3x}{x^2+2} \geq 1$ が必要である。

$$3x \geq x^2 + 2, \quad x^2 - 3x + 2 \leq 0, \quad (x-1)(x-2) \leq 0$$

よって, $1 \leq x \leq 2$ となり, $x=1$ または $x=2$ である。

(i) $x=1$ のとき $\frac{3x}{x^2+2} = \frac{3}{1+2} = 1$ となり適する。

(ii) $x=2$ のとき $\frac{3x}{x^2+2} = \frac{6}{4+2} = 1$ となり適する。

(i)(ii)より, 求める x は, $x=1, 2$ である。

(2) 自然数 x, y に対し, $\frac{3x}{x^2+2} + \frac{1}{y}$ が自然数である条件は,

(i) $y=1$ のとき

$\frac{1}{y} = 1$ から $\frac{3x}{x^2+2}$ が自然数となることより, (1)の結果から $x=1, 2$

(ii) $y \geq 2$ のとき

$0 < \frac{1}{y} \leq \frac{1}{2}$ となり, (i)より $x \neq 1, x \neq 2$ なので, $x \geq 3$ である。

すると, (1)の結果から $0 < \frac{3x}{x^2+2} < 1$ となり, $0 < \frac{3x}{x^2+2} + \frac{1}{y} < \frac{3}{2}$ から,

$$\frac{3x}{x^2+2} + \frac{1}{y} = 1 \dots\dots\dots (*)$$

(*)から, $\frac{1}{y} = 1 - \frac{3x}{x^2+2} = \frac{x^2-3x+2}{x^2+2}, \quad y = \frac{x^2+2}{x^2-3x+2}$

ここで, $y \geq 2$ から $\frac{x^2+2}{x^2-3x+2} \geq 2$ となり, $x^2-3x+2 = (x-1)(x-2) > 0$ より,

$$x^2+2 \geq 2(x^2-3x+2), \quad x^2-6x+2 \leq 0$$

よって, $3 - \sqrt{7} \leq x \leq 3 + \sqrt{7}$ となり, $x=3$ または $x=4$ または $x=5$

(ii-i) $x=3$ のとき $\frac{3x}{x^2+2} = \frac{9}{11}$ となり, (*)より $\frac{1}{y} = \frac{2}{11}$ であるので不適。

(ii-ii) $x=4$ のとき $\frac{3x}{x^2+2} = \frac{12}{18} = \frac{2}{3}$ となり, (*)より $\frac{1}{y} = \frac{1}{3}$ であるので $y=3$ 。

(ii-iii) $x=5$ のとき $\frac{3x}{x^2+2} = \frac{15}{27} = \frac{5}{9}$ となり, (*)より $\frac{1}{y} = \frac{4}{9}$ であるので不適。

(i)(ii)より, 求める (x, y) は, $(x, y) = (1, 1), (2, 1), (4, 3)$ である。

[解説]

値を絞り込むタイプの整数問題です。一見, 難問そうに見える(2)では, (1)での考察がたいへん役立っています。なお, 記述は省きましたが, 方針を立てるとき, x に具体的な数値を入れて計算をしています。